



小学生、中学生に読んでもらいたい記事を
のせています。読めない字があったら、お
うちの人に教えてもらってね。

わたしたちの身近な文化財

鈴木稲荷神社境内の 金刀比羅社の彫刻装飾

小平市内の鈴木町にある鈴木稲荷神社の文化財として、今回は本殿北側(本殿に向かって右手側)にある金刀比羅社を取り上げます。

この社は、椀皮葺の屋根をもつ総檜作りの建物で、一部に塗料の痕跡が観察されることから、かつては全体に色が塗られていたようです。長い間屋外にあったためか、彩色はほとんど失われ、欄干の一部も欠けているなど傷みも見られます。現在は全体に覆屋がかけられ、保護されています。

この社を特徴づけるのは柱から梁にかけての全面と壁面にほどこされている江戸時代後期の彫刻装飾で、鈴木稲荷神社本殿覆屋の鏤絵と同じ平成26年(2014)に、市の有形文化財に指定されました。

榎戸新田(現国分寺市北町)の名主だった榎戸家から上鈴木の粕谷家を経て、境内に移されたもので、彫刻板の裏の「天保四季 癸己(=巳の誤り)之夏 江都浅草 彫巧 小川義長」(天保4年(1833)の夏、江戸浅草の彫刻師小川義長)という文字もあり、天保年間(1830~1843)に榎戸家に身を寄せていた腕の良い彫刻師が制作したものと伝えられています。

西、南、北の三面の壁には中国の故事(昔のできごと)が彫刻で描かれています。以前この神社の維持・管理をされていた、故岡田美作さんの解説をもとに説明します。

【西面】「桃園の義」：紀元220年頃の中国は、魏・蜀漢・呉の三か国に分かれて、互いに天下を争っていました。この彫刻は、蜀漢の国を興す前に三人の英雄豪傑が、桃の林の中で義兄弟の盟約を結んだという『三国志演義』の場面を描いたものです。中央で軍配うちわを手にしているのが蜀漢の初代皇帝となる劉備玄德、右側の髭をたくわえているのが関羽、左側の桃の花を手にしているのが張飛です。三人はこの後、名参謀の諸葛孔明(諸葛亮)を三顧の礼で迎えて、いわゆる「天下三分の計」を推し進めることとなります。

【南面】「張良 黄石公より兵書を授かる」：紀元前215年頃、秦の始皇帝の暗殺に失敗して逃げていた張良が、徐州付近の下邳の橋で、眼光鋭い不思議な老人に出会いました。この老人は紀元前1,100年頃、文王を助けて周の国を築いたとされる太公望呂尚の生まれかわりと自称する黄石公でした。自分の靴を橋の下に投げ捨て、張良に「小僧拾って来い」と言い、拾ってくると「履かせろ」と命じました。張良が怒りをおさえて履かせると、「見どころのある小僧だ。5日後の朝ここに来い」と言い、5日後に行くと、「人と会うのに遅れるとは何事だ。5日後に又来い」と言われ、5日後に早朝に行くと「まだ遅い」と叱られ、「もう一回機会をやる。5日後に来い」と言われたので、今度は午前3時頃、橋の上で待ちました。するとそこへ老人が来て、

「よく頑張った」とふところから巻き物を取り出し、「この兵法書をよく読めば、お前は王者の軍師になれる。天下統一のために用いよ。ゆめゆめ私利私欲のために用いてはならぬ」と諭して手渡しました。この兵法書が太公望の戦略・戦術について書かれた『六韜』の虎の巻だったとされ、張良は後に漢の高祖劉邦に仕える名軍師となりました。今でも教科書の答などを記した手引書を「虎の巻」と言うのはこの巻き物の名からきています。

【北面】「韓信の股くぐり」：韓信は紀元前200年頃、漢の高祖劉邦に仕えた名将でした。韓信は劉邦に仕えていましたが、その才能が認められなかったので去ろうとします。しかし、劉邦の重臣蕭何が韓信を「国士無双(一国に二人とない有能な人物という意味)」と評価したことから重用されるようになり、劉邦が天下を取るのに大いに功献しました。

その韓信が世に出る前、江蘇省淮陰で職をさがしていた頃、ならず者(行ないが悪い者)から「お前は図体は大きいが臆病だろう。その刀で俺を刺してみろ。出来ないなら股をくぐれ」と挑発されました。負けるような相手ではありませんでしたが、争う価値のない人物と見て、屈辱に耐えてその股をくぐりました。これは漢の時代に書かれた歴史書の『史記』に描かれた場面で、「韓信の股くぐり」は「出来る堪忍だれもする。ならぬ堪忍するが堪忍」「負けるが勝ち」の教えとして使われます。

これらの中国の故事にまつわる物語は、江戸時代には書物として読まれただけでなく、能の演目になったり、文人画や絵馬、いろはかるたの画題となったりしているほか、当時の川柳でも取り上げられるなど、人々の間で広く知られていたようです。

この金刀比羅社は鈴木稲荷神社境内の隅にひっそりとたたずんでいます。その彫刻を見て、今からおよそ1,800~2,200年前の遠い中国の歴史や物語に触れてみてはいかがでしょうか。



〈金刀比羅社外観〉



〈西面 桃園の義〉



〈南面 張良と黄石公〉



〈北面 韓信の股くぐり〉

小平市 平櫛田中彫刻美術館 KODAIRA HIRAKUSHI DENCHU ART MUSEUM

◆春の企画展◆

蔵出し! 絵画コレクション

平櫛田中が収集した絵画コレクションから、初公開のものを含め、選りすぐりの作品を公開します。

また、会期中の3月21日(月)まで、田中が娘のために制作した内裏びなを展示し、その後4月18日(月)まで誕生仏を展示します。

と き 5月15日(日)まで

開館時間 午前10時から午後4時まで
※なるべく、午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日(ただし、5月3日(火)は開館し、5月6日(金)は休館)
観覧料 一般…300円、小・中学生…150円
※駐車場をご利用の方はご相談ください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098



中央図書館に図書消毒器を設置しました

図書館では返却された図書をアルコールで清掃していますが、より安心してご利用いただけるよう、中央図書館に紫外線を利用した図書消毒器を設置しました。貸出手続きが済んだ本をセルフサービスで消毒できます。



この教育委員会だよりは、環境に配慮して古紙配合の再生紙と低VOCインキを使用しています。

こだいら子ども読書月間

図書館では、4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、4月2日から5月18日までを「こだいら子ども読書月間」として各館で催しを行います。

催し	とき	ところ	電話
豆和装本を作ってみよう!	4月16日(土)	中央図書館	042 (345)1246
豆本を作ってみよう!	4月23日(土)		
・ちしきの本の展示 ~さまざまなふしぎを解明せよ~ ・文字の少ない絵本の展示 ~きみだけの物語を~	4月2日(土)~ 5月18日(水)	仲町図書館	042 (344)7151
親子で楽しむ、動物絵本の展示	4月2日(土)~ 5月18日(水)	花小金井図書館	042 (467)1215
おうちで楽しむ、春のブック福袋	4月16日(土)~ なくなり次第終了		
知識の本の展示 ~調べよう・やってみよう・読んでみよう~	4月2日(土)~ 5月18日(水)	小川西町図書館	042 (343)1200
きへいとしょかん 春のおはなしパック	4月16日(土)~ なくなり次第終了	喜平図書館	042 (325)1300
ちきゅうだいすき! ~地球について考える絵本・本の展示~	4月2日(土)~ 5月18日(水)	上宿図書館	042 (344)3360
・あんなこと こんなこと なんだろう? ~知識の絵本をのぞいてみよう!~ ・布の絵本の展示	4月2日(土)~ 5月18日(水)	津田図書館	042 (341)1245
・みんなで育てよう! 本の木 ・おはなし会で読まれた絵本とおはなしの 展示	4月2日(土)~ 5月18日(水)	大沼図書館	042 (342)2001
布の絵本の展示	4月23日(土)~ 5月18日(水)		

詳しい内容については、各館へお問い合わせください。

春休み子ども映画会

費用 無料
申込み 当日、中央公民館へ(先着順)
問合せ 中央公民館 ☎042(341)0861

題名	定員	とき	ところ
・ちびまる子ちゃん ・10+1ぴきのかえる ・くまのプーさん	30人	3月25日(金) 午前10時~11時30分	中央公民館 視聴覚室